

くずこう

久通港（高松市管理地方港湾）

久通港は、五剣山を擁する庵治半島の基部、屋島湾の奥部に位置し、その立地特性から港内は極めて静穏な港湾です。

本港は、背後の五剣山の山麓から産出され、「庵治石」の名で全国に知られる良質な石材および石材製品の積出し港として、江戸時代から栄えてきました。

本港の整備は昭和37年から昭和59年にかけて行われ、この間に石材運搬船等の貨物船が接岸できる臨海工業用地も造成され、現在、高松市における石材加工、石材流通の拠点を形成しています。

